

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	University of Galway
留学先での所属学部・研究科:	Business
留学先での在籍身分:	International Student
留学期間:	2022.08.27 - 2023.05.04
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3
帰国日:	2023.05.16
本報告書記入日:	2023.05.22

1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	7月4日(受入許可完了のメールは5月16日)
	参加必須のオリエンテーション日	9月2日(事前には8月27日と書いてあったがそれは参加必須ではなかった。)
	学期:	① 09月05日～ 12月16日
		② 01月09日～ 05月04日
③ 月 日～ 月 日		
④ 月 日～ 月 日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	ゲール語、ムービー
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	無料で大学院生向けのライティングやスピーキングの講座があった。
	勉学面でのサポート:	
	精神面でのサポート:	
1-3	住居・生活面でのサポート:	留学生はコンタクトを取れば必ず寮に入れてもらえる。 まあそれが当たり前と感ぜられないアイルランドの住宅事情はやばい
	課外活動のサポート:	オリエンテーションで説明があるが、サークルがまとまっていて、登録も行えるサイトがあり、それを用いると簡単にサークルに所属したり情報が得られる(YourSpace)
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	住居はとにかく高い。自分はtwin roomに住んでいた(狭い部屋に二つのベットがある地獄)が家賃は月に500€(75000円)ほどで、とにかくきつかった。プライベートルームにしようと思うと10万は余裕で覚悟していた方がいい。(他の大学ならプライベートルームで3-5万ほど)しかも、部屋は供給が少なく、寮以外の選択肢はほぼない。これはもうゴールウェイに行くなら受け入れるしかない。一つアドバイスをすれば、高くてもプライベートルームは持っていた方がいい。シェアルームは本当に精神が終わる。
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	寮は寮費に含まれていて特にやることはない キャンパス内は学校のWi-Fiがある
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	普通に繋がるけど、学校のWi-Fiでメールを受信できなかった。
3-2	医療について 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	特に病院にはかからなかったけど、みんなよく風邪は引くらしい。
3-3	銀行口座等について	現地のカードは作っていない
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	基本的に全てカードで生活していた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	Jasso
	支給額(円/月):	80000
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	150,000円
	住居費:	(月額) 75,000円 × (留学月数) 8ヵ月 = 600,000円
	食費:	(月額) 30,000円 × (留学月数) 8ヵ月 = 240,000円
	保険料:	80,000 円
	その他:	500,000円
	合計(留学期間全体の費用):	1,500,000
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	文化はやはり海外で、コミュニケーションやお酒については日本よりも寛容であった。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	全留学生に言えるが、実は現地の人と関係を持つことは難しく、友達も留学生が多かった。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	サークルに所属していたり、学生のサッカーに参加していた。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	街はとても狭い。大きさでいうと六甲道が全ての町の大きさ。でもとても綺麗な街で住みやすく、不便も特にない。観光客も多い。治安もとてもいいと思っていた。が帰国1週間前にキャンパス内で中国人が刺されて、いまだに犯人は見つかっていないらしい。こわ
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ポスカリでボストンに行ったが結局出席せず、観光をした。それ以外は特にしていない
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	学校のホームページが一番有益であったが、それもさほど有益ではなかった。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	化粧水等、保温の水筒
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学はもちろんのこと、全ての常識が変わった。色々なものを色々な視点から見えるようになったと思う。日本に帰っても気づきが多かった。しかし、一番感じたのは日本の素晴らしさである。海外に住むことでいかに日本が最高であるかわかった。もう海外には住めないかも
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(TOEFL) 76点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	最大のトラブルで言うとAirpods Proを空港に忘れたこと。逆にそれを出すくらいトラブルというトラブルはなかった
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	Galway大学が初めてだったからかもしれないが、本当に情報が少なくて困った。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	留学プログラムはとても薦める。けどゴールウェイはどうだろう。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	1
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	3
	・留学全体の総合的な評価	4

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

まず、留学にいった方がいいと思います。色々な理由がありますが総合して、でもこれを読んでいるということは、どの大学に行くか迷っているんだと思うのでゴールウェイのいい点と悪い点、特徴を書いていきます。

いい点

・街がとても綺麗

街はアイルランドの第三都市で、大きさも六甲道程度しかない。しかし有数の観光スポットであり、観光客も多い。エドシーランがgalway girl という曲を出していて、舞台がゴールウェイなので一回MVを見てみると雰囲気が伝わるかも。

・パブがすごい

アイリッシュパブは有名ですが、中でもゴールウェイのパブは特殊です。毎日パブ内でライブコンサートが開かれており、生のバンド演奏が聞けます。人気曲から伝統曲までパブごとに特色があります。パブが徒歩3分圏内に乱立しているので、その日の気分で決められます。

・言語が英語

当たり前ではありますが重要です。例えばドイツやウィーンに留学すると、もちろん英語は通じるのですが、基本的に会話がドイツ語で行われています。商品の表記もドイツ語で意味がわかりません。でもアイルランドは全員が英語なので、日常的に英語を伸ばすことができます。

・ゴールウェイ大学の世界評価が高い

世界大学ランキングでも神戸大学より上の200位代です。

・狭い街でホーム感がある

本当に狭い街なので、自分の街感をすごい感じられます。

悪い点

・住居が高すぎる

前述しましたが、住居が高すぎます。他の国の相場の2-3倍します。(8-15万) これはシンプルでありながらとてもきつい。本当にきつい。けど、シェアルームはお勧めしません。

・めっちゃくちゃ雨ふる

これもシンプルでありながらめっちゃきつい。今年は運良く6割くらいの日で治ったようですが、基本9割と考えるとください。(冬) しかしこれは実は、他の留学先もゴールウェイほどではないにしろ冬は基本天気が良くないので、ゴールウェイだけのデメリットではないかも。でもゴールウェイは特にひどいと言われている。

・空港まで遠すぎる

留学すると旅行に行くと思いますが、最寄りのかいダブリン空港までバスで3時間かかります。旅行がめっちゃきつ。

・ヨーロッパに地続きじゃない

絶対に飛行機に乗る。他の人はバスや電車で旅行できる中、飛行機を使うため高くつく。時間もめっちゃかかる。

・じゃあ国内旅行と考えるとめっちゃくちゃ難しい

国内旅行も交通機関が発達してなくて基本的に厳しいです。車を持ってれば別ですがそうでなかった場合、ダブリンへは2時間半、それ以外の観光地はツアーに申し込む場合はダブリンスタートが多いです。また、そもそも車じゃないといけないところもあるし、狭い国なので選択肢も少ないです。

特徴

・留学期間が短い

8月後半ー5月前半と他の人より2週間から1ヶ月ほど短いです。僕に取ってはちょうどよかったです。

・Society(サークル)がある

イギリスとアイルランドには学校によるサークルの文化がありますが、他の人に聞いたところ他ではあまりないようです。それは他の地域コミュニティより参加しやすいと思うし、大学の友達も作りやすいです。

・単位がとりやすい

成績評価で40%以上で可をもらえるので比較的他の大学よりも単位がとりやすいと思います。

・日本人が少ない

日本人が少ないのも一つの特徴です。他の学校は10-30人ほど他の大学から日本人留学生がいたと聞いたのですが、ゴールウェイ大学は神戸大学からの留学生僕を含めた3人だけでした。しかし英語圏なので街自体にはある程度ワーホリの日本人がいます。いいところとしては基本的に日本人が少なく、関わる機会が少なく英語に集中できます。もし関わりたかったらワーホリ勢と選択できます。他の大学だと日本人と同じ大学でつるむことも少なくないと思うのでメリットだと思います。デメリットとしては、日本人が少ないがゆえに自らコミュニティを広げる必要があります。他の大学だと他の日本人からコミュニティが広がっていくことがよくあると聞きますが、この場合はそれが期待できないです。もちろんコロナで留学生が少なく、今後増えていく可能性があるのですが、提携校を見た感じ四校くらいしかないので、おそらく多くてもあまりこないと思います。

・ビザの準備がいらぬ

他の学校だとビザを事前に準備するのがだるいと聞きますが、アイルランドでの留学の場合は、ビザなしで渡航し現地で居住申請します。そのため事前

9. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Statistics for Data Science 2	prof John Newell	100分	5 ECTS	英語	60	課題 4回35% 期末テスト65%
2	Statistics for economics	Matthew Collins Enda Hargaden	100分	5 ECTS	英語	60	期末テストなしの25%小テスト2回 課題25%2回
3							
4	Statistics for Data Science 1		100分	5 ECTS	英語	60	課題6回30% 期末テスト70%
5	Mathematics for Economics		100分	5 ECTS	英語	60	小テスト40% 期末課題60%
6	Decision Modelling and Analytics		100分	5 ECTS	英語	60	課題3回40% 期末課題60%
7	Financial Management		100分	5 ECTS	英語	60	online quiz 2回20% 期末テスト80%

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

全体的な授業について
 授業は基本的に講義形式であり、クラスのサイズも含めて日本と同じ感じ。成績評価も先生は生徒に単位を取らせようとしてくれる印象がある。授業の雰囲気も予想に反して日本と同様。つまり、基本的に席は後ろから埋まっていて、先生が質問しても誰も答えようとしていない。よく言えば、受けやすく悪く言えば成長しづらい環境である。授業は自分は金融や統計的な分野を勉強したかったのでそれについての講義を主に取っていた。この分野についていうと、英語での授業とはいえ、大事なものは数字なので専門用語や概念についてしっかり勉強していれば海外でも特に問題ないどころか、テストや課題は計算等がメインで点数も取りやすく、良い成績も簡単に取れると思われる。また、大学のシステム上40%から単位がもらえるので、他の大学に比べて単位は取りやすいと感じる。